

学生発表会

## 第7回教育デザインフォーラム 学生発表会の報告

大学院運営委員会教育デザイン小委員会  
但馬文昭・泉真由子・多和田雅保・三宅晶子

教育学研究科一年生の必修科目であるコア科目「教育デザイン」の授業の一環として行われた、学生によるポスター発表会「教育デザイン」の実施報告である。

2012年10月27日土曜日、横浜国立大学ホームカミングデイに行くことで、広く一般の卒業生も気楽に参加できるようことを狙いとした。当日は教員・学生を中心に約130名が参加して、盛んに意見交換をして、刺激的なひとときを過ごした。

昨年度に続く二度目の実施で、7号館2階の4教室を会場として、16領域を4グループに分け、各部屋2グループずつ45分間ずつの2交代制をとる方法は、昨年度を踏襲している。本年度新しく取り入れたこととしては、希望があれば各領域複数参加を認めたことで、4領域から2グループが加わった。また、基本的には1年生の教育デザインに関する取り組みの中間発表と情報交換を目的としているが、教育インターンを終了して修論に取り組んでいる2年生が、発表したケースもある。



教育デザイン小委員会委員4名が一部屋ずつを担当し、ポスター作成の方法や、45分間の使い方、会場設営の方法などは、各部屋に配属された学生達が自由に行った。ポスターの作り方も様々で、主に理科系・芸術系などの領域では、写真・図・グラフなどを多用して、

模造紙一枚を美しく印刷するテクニックも持っており、ポスターの機能を十分活用した、視覚的に訴える工夫がなされていた。一方文化系の中にはポスター発表には適さない領域もあり、椅子を多く並べて参加者が腰を掛け、発表者は45分間に1回だけ十分に時間を使って研究発表し、その後参加者から質問を受け、最後は自由にディスカッションするという方法を取っていた。



教室の前後どちらかのスペースを利用したポスター発表という形式は、発表者にとって学会の研究発表に比べて、手軽に準備できる。また参加者が気楽に出入りでき、様々な内容に直接触れ、質問や意見交換も可能である。これらの点は修士論文に向けての中間発表的な位置づけとしては、適当な形式と考えられる。ただしすべての専門領域が機械的に同様の形式で取り組むのは不可能であろう。今後はただポスターを貼って聴衆が集まればそれに合わせて話をするのではなく、それぞれの個性を明確に打ち出して、どのように行えばプレゼンテーションとして効果的かを、各領域で工夫し、自由に45分間を活用できるよう指導することが望ましい。来年度もホームカミングデイを使って同様に行う予定である。この形が恒例化して、より多くの様々な方々の参加が増えることが望ましい。

## 【ポスター発表題目・発表者一覧】

### < 201 室 >

- 「自己概念形成に及ぼす社会的比較の影響に関する一研究」  
臨床教育 川平英里
- 「戦後日本におけるモンテッソーリ教育の再評価・再導入」  
教育学 竹田 恵
- 「青年期前期における敬老志向性とその構造に関する研究」  
心理学 高橋知也
- 「児童期における夢を持つ要因と効果についての一考察」  
心理学 斎川諒太
- 「JSL 児童はオノマトペの何に困難を感じるのか？」  
日本語教育 本多宏美



### < 202 室 >

- 「高校生の抱く英雄のイメージと国語教科書」  
国語 長島裕太
- 「日本人大学生の受容的語用論的能力の差と指導可能性」  
英語 竹中恵太
- 「コメンタリーによるライティング力向上を目指した指導」  
英語 土方祥平
- 「附属学校との学的連携を基軸とした授業研究」  
社会 渡辺大介・宮川史義
- 「基本図形の定義指導のあり方に関する研究」  
数学 小泉健輔

### < 210 室 >

- 「温帯低気圧・台風の可視化と気象教育への応用」  
理科 北内達也
- 「災害事例より検証する、防災力を育む気象情報の利活用」  
理科 根来都子
- 「工業高校の技術教育から捉えた中学校技術科の重要性」  
技術 大島美音
- 「市民活動支援の現況と方向性—横浜市の公設中間支援組織を事例として—」  
家政 大塚雄一
- 「調理実習・実験を主体とした家庭科の授業に関する研究」  
家政 久保田正芳
- 「マレーシアの学校音楽教育における西洋音楽文化の位置づけについて」  
音楽 天野 優

### < 211 室 >

- 「西洋古典技法による体系的な描写法の研究についての発表」  
美術 武田優作・高橋真美
- 「世界中の子どもたちがつながるきっかけを」  
保健体育 加藤功甫
- 「発達障害児への社会性の発達を促す効果的な教材の開発」  
特別支援教育 近藤春樹
- 「青年期における対人不安・緊張と発達の変化に関連する要因」  
臨床心理学 中村千尋



当日は、ポスターの掲示物資料として印刷して参加者に配布した。

以下に、当日のポスター発表の内容と、実施後の考えを1頁にまとめたものを掲載する。題目が違っている場合は、当日と報告時の相違を反映している。